

美濃市における地方創生SDGsへの取り組み事例

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



丸重製紙企業組合
代表理事 辻晃一



【氏 名】辻晃一

【使 命】「美濃と和紙を元氣にする」

【生まれ】1979年11月27日

【経 歴】美濃市生まれ。高校卒業まで美濃市で過ごす。
早稲田大学教育学部へ進学と共に東京へ。
大学卒業後、ベンチャー企業での勤務を経験したのち、
2009年に家業の丸重製紙企業組合へ入社。
以来、「美濃と和紙を元氣にする」を使命に掲げ、
様々な活動や事業を展開。

【企 業】丸重製紙企業組合 理事長（家業）
みの市民エネルギー(株) 代表取締役
みのまちや(株) 代表取締役
みのシェアリング(株) 取締役社長

【その他】（一社）美濃市観光協会 副会長
（一社）美濃青年会議所（2018年度理事長）
SDGs カードゲーム公認ファシリテーター
青少年育成アドバイザー
NPO法人Earth as Mother 岐阜 副理事長

11 住み続けられる
まちづくりを



地方創生SDGsを目的に、和紙製造&販売、観光、エネルギー、古民家再生、まちづくり、農業、食、教育、福祉など、美濃市における「地域循環共生圏」の構築を通じた「SDGs 11.住み続けられるまちづくりを」の達成にむけて顔晴ってます！

地方創生事業へのきっかけ

2009年：約10年ぶりに故郷に帰るも。。。

【地域】

保育園：同級生45人

⇒現在：10人前後

小学校：同級生45人

⇒現在：廃校

中学校：同級生85人

⇒現在：廃校

美濃市の人口：約26,000人

⇒現在：約20,000人

【和紙】

手漉き和紙：約3,000件

⇒現在：約20名

(明治時代)

丸重製紙：創業約70年

⇒当時：創業以来最大の赤字

持続不能な地域

持続不能な産業

地方創生事業へのきっかけ

「美濃と和紙を元氣にする」



「美濃を**持続可能な社会**にする」

「和紙を**持続可能な産業**にする」



11. 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

元氣 ↔ 不安

不安な時代 → なぜ不安なのか？

それは、「他」に依存しているから！

（他：株価、為替、輸出入、年金、食料、エネルギー、
仕事、勉強、価値観、人生、責任、など）

その為には、美濃市で

自立した「**地域循環共生圏**」を確立！

各事業の紹介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



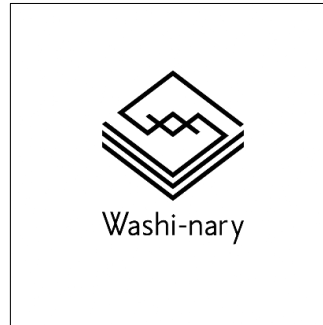


MARUJYU

丸重製紙企業組合

丸重製紙企業組合

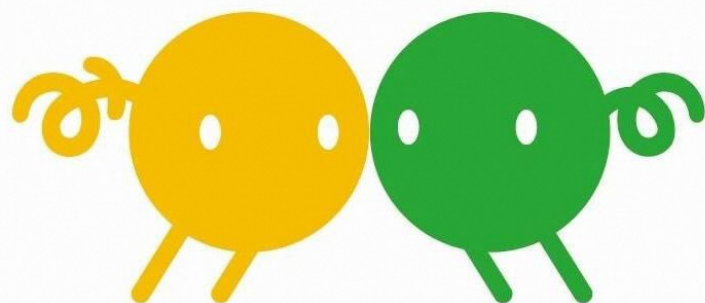
創業70年の機械抄き美濃和紙メーカー



和紙専門店Washi-nary

丸重製紙企業組合直営の和紙専門店





みの市民エネルギー

みの市民エネルギー株式会社

地域電力会社（小売電気事業）



②地域電力会社「みの市民エネルギー株式会社」



丸重製紙では、美濃市内の複数の法人・個人と共同出資し、地域電力会社「みの市民エネルギー株式会社」
<https://minoene.co.jp/> を設立。電気代の地域内循環・エネルギーの地産地消・クリーンエネルギーの推進を図ると同時に、自立した「住み続けられるまちづくり」に貢献します。

同時に、今後は自社発電で電力をまかなうオフグリッド企業を目指し、地球温暖化防止に貢献していく予定です。

美濃ではじまる
電力の自給自足



美濃市に地域電力会社

「みの市民エネルギー」を発足
地元各社とワタミ出資

「みの市民エネルギー」を設立した辻晃一社長（左）ら。美濃市上条、美濃商工会議所

子▽2年計画 美濃市見

通じ、地域の活性化を
目指す。
地域への電力供給事
業で地域活性化を目指
す「ワタミ」の理念に
賛同した辻理事長が、
タカイコーポレーショ
ンなどに投資を呼び掛
けて設立。資本金は5
00万円。美濃商工会
議所内に本社を置く。
辻理事長が社長に就任
した。

今年中に経済産業省
の電力小売りの認可を
目指す。当面は自前の
発電施設はせず、中

みのまちや株式会社
まちづくり会社



NIPPONIA

美濃 商家町

MINO

MERCHANT TOWN

NIPPONIA 美濃商家町（令和元年7月5日グランドオープン！）

■ NIPPONIA

NIPPONIAとは [📄](#) [関連サイト](#) [▲](#)



NIPPONIA美濃商家町 第2棟目「YAMAJOU棟」 (令和2年9月5日グランドオープン!)



アートギャラリー「GALLERY COLLAGE」 (2021年4月オープン)



美濃・余白
シーズン・ラオ展
Mino blank-leaving
The exhibition of SEASON LAO

2021.4.27 - 8.30
開館日：土、日、月曜日 11:00 - 16:00
※GW特設開館(4/27-5/5) 5/3のみ休館

オープニング 4/27(土) 15:00 - 16:00
ワークショップ「美濃 心の風景を写そう」 4/27(土) 16:00 - 17:00 (要予約)

■ NIPPONIA



ミノマチャマーケット

(うだつの上がる町並み全体の空き家・空きスペースを利活用)



12/3・4・5

ミノマチャ
マーケット

2021 岐阜美濃うだつの上がる
10:00 まちなみ全体が舞台の、
16:00 良いものあつまる三日間



手仕事が
つくる、
上質で、
丁寧な
暮らしを
美濃の
町家から



ミノマチャマーケット (うだつの上がる町並み全体の空き家・空きスペースを活用)

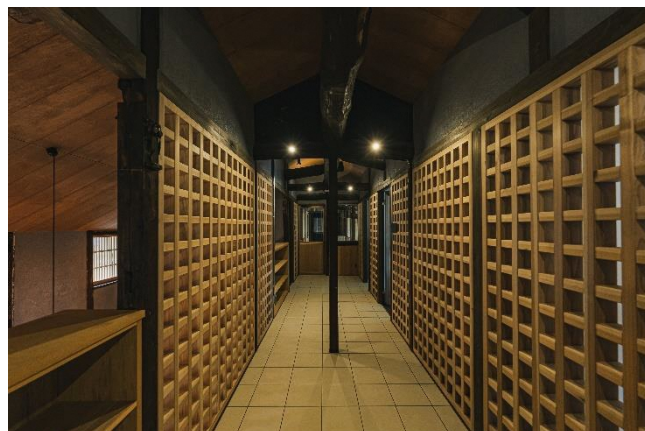


まちごとシェアオフィス



WASITA
MINO

まちごとシェアオフィス「WASITA MINO」 (2021年7月31日オープン)

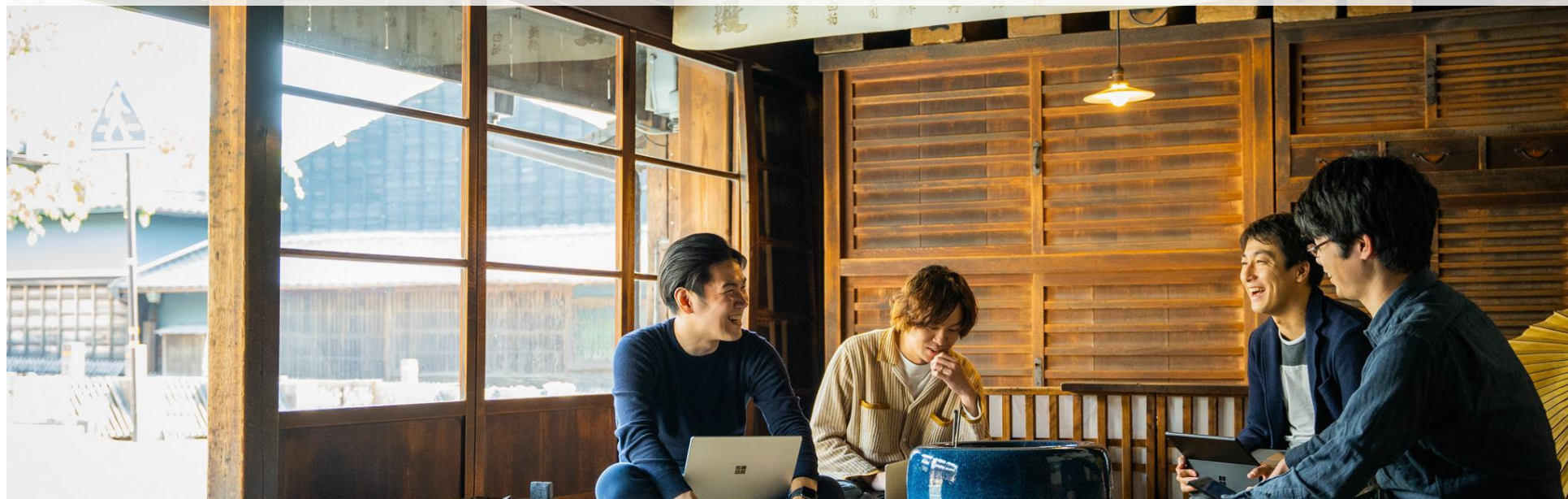


岐阜県サテライトオフィス誘致推進補助金／美濃市テレワーク等支援事業

■施設名/コンセプト

Work And Stay in Traditional Areaを略し、WASITA MINOと命名しました

自然と伝統、繋がりが息づく
ゆたかなまちで働く、暮らす



WASITA (Work and Stay in Traditional Area) MINOは、自然・伝統文化・人の繋がりが息づく岐阜県美濃市のうだつの上がる町並をフィールドに、「豊かなまちの暮らしの中で、人間らしく働く」というこれからの日本社会に必要な働き方を提案するシェアオフィスです。

■ビジョン

1. これからの時代に必要な、
豊かな働き方を創ること
2. 美濃に新しいチャレンジを生み、
雇用や産業創出に繋げること
3. 美濃の価値を外に届け、
地域内に人と経済の循環を生むこと



その他

教育事業



○岐阜県初のSDGsカードゲーム『2030 SDGs』公認ファシリテーター
○企業、団体、行政、学校など、これまでに100回近い講演・研修を実施

NPO法人アースアズマザー岐阜

農福連携・困窮者支援を目的としたNPO法人



特定非営利活動法人

Earth as Mother

アース アズ マザー

わたしたち Earth as Mother(アース アズ マザー)の『夢』と実現目標は、
”未来の子供たちが安全で安心して食せるおいしい作物づくりを中心とした真農業の推進と
地球環境にやさしいコミュニティを創る”ことです！！ (Earth as Mother ホームページより)

健康で持続可能な全循環型真農業・福祉コミュニティ 構想図

マザリー アース プロジェクト

～ 未来の子供たちが、笑顔で暮らせる健康で持続可能なコミュニティづくり ～



未来の子供たちが笑顔で暮らせる
健康で持続可能なコミュニティづくり



Motherly Earth Project

今後のビジョン

